

# プログラム

## 第1日目【9月16日(土)】

### A会場 (大ホール)

9:20～9:30 開会式

9:30～10:50 リレー講演1: 専門職教育・研究委員会企画

#### 『非がんとがんの緩和ケア』

座長：川添 紀子（日本医科大学付属病院）

#### 非がん疾患の緩和ケア・エンドオブライフケア

平原 佐斗司（東京ふれあい医療生協協同組合 研修・研究センター）

#### がんの緩和ケア ～在宅緩和ケアの実践から～

竹田 果南（緩和ケア診療所いっぽ）

11:00～11:50 特別講演

座長：内田 陽子（群馬大学大学院保健学研究科）

#### 認知症ポジティブ ～本人も家族も医療・介護職もウェルビーイングに～

山口 晴保（群馬大学・名誉教授）

12:00～12:50 ランチョンセミナー1 共催：株式会社ライフシステム

座長：宮澤 真優美（特別養護老人ホーム高風園高齢者あんしんセンター）

#### 認知症の人のAdvance Care Planning (ACP) のプロセス

伊東 美緒（群馬大学大学院保健学研究科）

13:00～13:50 会長講演

座長：高井 ゆかり（群馬県立県民健康科学大学 看護学部看護学科）

#### ありがとうといえるエンドオブライフケア ～すべて統合したポジティブケア～

内田 陽子（群馬大学大学院保健学研究科）

## 14:00～15:30 教育講演

座長：伊東 美緒（群馬大学大学院保健学研究科）

### 最期まで安心して過ごしていただくためのケア技法 ―ユマニチュード®―

本田 美和子（国立病院機構東京医療センター 総合内科）  
イヴ・ジネスト（ジネス・マレコッティ研究所）

## 15:50～17:20 シンポジウム1

### 『認知症になっても最期まで地域で暮らす「ポジティブ・エンドオブライフケア」』

座長：島田 千穂（佐久大学人間福祉学部）

#### 認知症になっても最期まで地域で暮らす ～『ポジティブ・エンドオブライフケア』～

田中 志子（医療法人大誠会内田病院）

#### 認知症のひとの在宅医療 ～かぎりあるいのちだからこそ ありがとう～

大澤 誠（医療法人あづま会 大井戸診療所）

#### 認知症の人に最期まで伴奏する看護小規模多機能でのエンドオブライフケア

佐藤 文美（複合型サービスじゃんけんぼん観音寺）

## B会場（小ホール）

## 10:00～10:50 口演発表1群

座長：原沢 のぞみ（東邦大学看護学部 成人看護学研究室）

### 01-1 自宅退院された膠芽腫患者への意思決定支援についての一考察

西府 由佳（鹿児島大学病院）

### 01-2 制度の狭間で孤立する人たちへの社会的支援

～人生の最終段階における意思表示の実現の為に・NPOの取組み～

大橋 紘子（特定非営利活動法人都民シルバーサポートセンター）

### 01-3 独居のがん終末期患者に対する在宅療養移行支援

舟田 眞美（町立宝達志水病院地域医療連携室）

### 01-4 慢性閉塞性肺疾患療養者へのアドバンスケアプランニングの概念分析

南 琴子（聖路加国際大学大学院博士後期課程）

# プログラム

## 11:00～11:50 口演発表2群

座長：薬袋 淳子（岐阜医療科学大学・大学院 看護部看護学科）

### 02-1 介護支援専門員によるアドバンスケアプランニングの実装

大河内 章三（倉敷市中庄高齢者支援センター）

### 02-2 認知症を有する高齢がん患者のクオリティ・オブ・ライフに関する倫理調整

千葉 美穂（岩手県立磐井病院）

### 02-3 認知症治療病棟で認知症終末期患者をケアする看護師の葛藤

小川 勝彦（医療法人白百合会市原鶴岡病院）

### 02-4 日本エンドオブライフケア学会員の研究に関するニーズ：過去の研究動向

梶井 文子（東京慈恵会医科大学）

## 14:00～14:50 指定講演1

座長：松本 光寛（群馬大学大学院保健学研究科）

### 腎不全患者のエンドオブライフケア

岡 美智代（群馬大学大学院保健学研究科）

## 15:00～15:50 指定講演2

座長：平原 佐斗司（東京ふれあい医療生協協同組合 研修・研究センター）

### がんの最新医療と予後 ～治療抵抗性がん、再発がんへのアプローチ～

佐谷 秀行（藤田医科大学がん医療研究センター）

## 16:00～17:30 シンポジウム2

### 『人生の終焉を迎える人にどうかかわるか』

座長：戸谷 幸佳（群馬県立県民健康科学大学 看護学部看護学科）

#### 人生の終焉を迎える人にどうかかわるか

岩城 典子（NPO法人マギーズ東京）

#### 人生の終焉を迎える人にどうかかわるか ～本人の価値観に基づいた医療・ケアの実践～

杉浦 真（安城更生病院 脳神経内科）

#### 人生の終焉を迎える人にどうかかわるか ～がん看護専門看護師の立場から～

石井 美希（伊勢崎市民病院）

**C会場（4階第5会議室）**

**10:00～10:50 交流集会1**

『COVID-19パンデミック下におけるエンド・オブ・ライフケア  
～パンデミック下における看取りを体験して：医療者として家族として～  
ワールドカフェでの語りを通して明日へ進む一歩を踏み出しましょう』

企画者：生駒あづさ（公立富岡総合病院）

**11:00～11:50 交流集会2**

『苦しみがありながらも穏やかになれるわたしへのケア』

企画者：久保田 千代美（Chiyomi Kubota Care 研究所）

**14:00～15:30 交流集会3:ACP 推進委員会企画**

『ACPファシリテートについて語ろう』

企画者：片山 陽子（Chiyomi Kubota Care 研究所）

**15:40～16:30 交流集会4**

『おひとりさまのエンドオブライフケア ～若者の立場から～』

企画者：崎山 恵里那（群馬大学大学院保健学研究科）

**16:40～17:30 交流集会5**

『大学病院と地域医療・介護を支える事業所との連携を構築してきた軌跡と  
これからの課題』

企画者：富田 千恵子（群馬大学医学部附属病院）

# プログラム

## D会場（大展示ホール）

10:00～17:30 **ポスター閲覧・広報委員会企画・展示**

13:00～13:55 **ポスター示説（質疑応答）**

座長：中谷 久恵（広島大学大学院医系科学研究科）

14:05～15:00 **ポスター示説（質疑応答）**

座長：小野 恵子（青森県立保健大学）

## E会場（小展示ホール）

10:00～11:30 **実演企画1**

座長：梶井 文子（東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 老年看護学）

**スキン・エンドオブライフケア**

岡部 美保（在宅創傷 スキンケアステーション）

12:00～13:30 **実演企画2**

座長：鈴木 峰子（群馬県立県民健康科学大学 看護技術学教育研究分野）

**口腔・エンドオブライフケア**

久保田 チエコ（明海大学）

14:00～15:00 **実演企画3**

座長：大木 正隆（東京工科大学 医療保健学部 看護学科）

**リラクゼーション法の体験**

柳 奈津子（群馬大学大学院保健学研究科）

15:30～17:00 **実演企画4**

座長：谷垣 静子（岡山大学大学院保健学研究科 看護学分野）

**認知症の人の痛みのアセスメント**

高井 ゆかり（群馬県立県民健康科学大学）

## 第2日目【9月17日(日)】

A会場 (大ホール)

### 9:15～9:45 モーニングセミナー

座長：新井 陽子 (群馬大学大学院保健学科)

ペリネイタル・ロス ～周産期に子どもを亡くした母親への母性看護の実践～

深澤 友子 (群馬大学大学院保健学研究科)

### 10:00～10:50 指定講演3

座長：彦 聖美 (金城大学 看護学部看護学科)

歴史的世界を生きる個として —エンドオブライフケアの人間観—

浅見 洋 (石川県西田幾多郎記念哲学館)

### 11:00～11:50 指定講演4

座長：伊東 美緒 (群馬大学大学院保健学研究科)

精神医療と臨床倫理・エンドオブライフケア

～判断能力が不十分とされる人たちの、エンドオブライフの意思決定への関わり～

井藤 佳恵 (東京都健康長寿医療センター研究所)

### 12:00～12:50 ランチョンセミナー2

共催：下田工業株式会社

座長：瀧澤 清美 (NPO 法人地域診療情報連携協議会)

包括的BPSDケアシステム®を活用したエンドオブライフケア

内田 陽子 (群馬大学大学院保健学研究科)

田島 玲子 (グループホームあかつき訪問看護ステーション)

# プログラム

## 13:30～15:00 市民公開講座1：市民と専門職の協働委員会共同企画

### 『文学・詩・対話からひもとくエンドオブライフケア』

座長：高橋 在也（千葉大学大学院医学研究院）

#### 表現と死を巡る

萩原 朔美（前橋文学館、多摩美術大学・名誉教授、金沢美術工芸大学・客員教授）

#### 闘病記から紐解くエンドオブライフ

足立 智孝（亀田医療大学看護学部）

#### 看護×地域× Playback Theater ～その人のストーリーを大切にされた看護をするために～

岡田 麻里（香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科）

## 15:10～16:00 市民公開講座2

座長：長江 弘子（亀田医療大学）

#### 歴史をひもとく死生観 ー平安文化の雅な世界からー

藤本 宗利（群馬大学・名誉教授）

## 16:05～16:55 海外招聘講演

座長：小野 恵子（青森県立保健大学）

### Advancing Palliative Nursing Care Education in Academia

Megan Pfitzinger Lippe, PhD, MSN, RN

(The University of Texas Health Science Center at San Antonio)

## 17:00～17:30 閉会式・表彰式・次期開催のお知らせ

B会場（小ホール）

## 9:30～10:50 口演発表3群

座長：片山 陽子（香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科）

### 03-1 スピリチュアルペインを表出する終末期患者との関わり ～患者との語りの中からその人らしさを見出すケア～

玉木 亜優（医療法人溪仁会札幌西円山病院）

- 03-2 療養の場所を超えて多職種で用いる末期認知症の苦痛評価プロトコールと教育教材の開発  
平原 佐斗司（東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター）
- 03-3 終末期がん患者に対する医師・看護師の困難感と緩和ケアの態度および死生観との関連  
塚 久美子（社会医療法人愛仁会 高槻病院）
- 03-4 特定機能病院に勤務する看護師の認知症高齢者に対する意思決定支援に関連した看護実践の実態  
庄司 聡子（山形大学医学部附属病院）
- 03-5 在宅療養がん患者にみられる症状とADLとの関連  
第1報 在宅療養がん患者における症状とADLの実態  
並木 良子（株式会社日本在宅ケア教育研究所あいの風ナースステーション）
- 03-6 慢性腎臓病の高齢男性患者における血液透析導入期の自己管理の困難、対処とその原動力  
新野 莉沙子（東京慈恵会医科大学附属第三病院）

## 11:00～11:50 口演発表4群

座長：坂井 志麻（上智大学 総合人間科学部看護学科）

- 04-1 A県老人看護専門看護師交流会で得た気づき  
—充実した高齢者のエンドオブライフケアの実現に向けて—  
菅野 心葉（東鷲宮病院）
- 04-2 死前喘鳴を有する患者とその家族に対する看護実践：熟練看護師対象の難易度調査  
小田 清花（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科）
- 04-3 非がん疾患患者に対する緩和ケアチーム活動の特徴 ～症状、倫理、看護師資格に焦点をあてた解析～  
小島 秀樹  
（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部地域医療連携室）
- 04-4 地域住民の「終末期に過ごしたい場所：自宅」との関連要因やその背景にある思い  
—山形コホート調査から—  
齋藤 朝子（山形大学医学部附属病院看護部）

## 12:50～13:20 学会・各種委員会報告

理事長 長江弘子（亀田医療大学）・他各種委員長 \* 学会員の方はお集まりください

## 13:50～14:50 日本循環器看護学会合同企画

### 『心不全の治療プロセスとエンドオブライフケア』

座長：島田 千穂（佐久大学人間福祉学部）  
坂本 明子（千葉県立保険医療大学）

#### 心不全の治療のプロセスとエンドオブライフケア —医師の立場から—

田中 旬（社会福祉法人三井記念病院）

#### 心不全の治療のプロセスとエンドオブライフケア —看護師の立場から— 最期まで自分らしく過ごすことを支えるエンドオブライフケアの実践

堀川 由加里（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 看護部）



# プログラム

15:00～16:30 リレー講演2

## 『ALSの人への告知・エンドオブライフケア』

座長：河端 裕美（特別養護老人ホームゆたか）

### ALSの人への告知・エンドオブライフケア ～医師の立場から～

荻野 美恵子

（国際医療福祉大学市川病院神経難病センター・脳神経内科

／国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・脳神経内科）

### 筋萎縮性側索硬化症（ALS）のエンドオブライフケア ～看護の立場から～

牛久保 美津子（群馬大学大学院保健学研究科）

C会場（4階第5会議室）

9:30～10:50 交流集会6：倫理委員会企画

## 『エンドオブライフケアに関する実践・研究を行う上での倫理的課題について考えてみましょう!』

企画者：足立 智孝（亀田医療大学）

11:00～11:50 交流集会7

## 『こどもの在宅看取り事例から訪問看護の役割を共に考えましょう』

企画者：内田 恵美子（一般社団法人 日本在宅ケア教育研究センター）

廣川 直美（一般社団法人 日本在宅ケア教育研究センター）

12:00～12:50 特別交流集会

## 『カードゲームで「今大切なこと」について語り合おう』

企画者：長江 弘子（NPO法人 Japan Academy of Integrated Care(JAIC)／亀田医療大学）

14:00～14:50 交流集会8

## 『障害を持ちながら生きる ～当事者の思いを伝える～』

企画者：中川眞紀（社会福祉法人知恵の光会 フロムワン附属診療所）

**15:00～15:50 交流集会9**

**『「親亡き後」を支える精神障がい者の看取り』**

企画者：荒井 春生（佐久大学大学院看護学研究科・看護学部）

**16:00～16:50 交流集会10**

**『群馬大学看護発！ 看護研究実践統合センターから現場に活用できる研究をご提供』**

企画者：新井 陽子（群馬大学大学院保健学研究科）

**D会場（大展示ホール）**

**9:30～16:00 示説・広報委員会企画・展示**

**13:00～13:55 ポスター示説（質疑応答）**

座長：那須 真弓（亀田医療大学）

**14:05～15:00 ポスター示説（質疑応答）**

座長：山田 案美加（亀田医療大学）

**E会場（小展示ホール）**

**9:30～11:30 専門看護師企画1**

**『専門看護師による講演と相談』**

「病院でのエンドオブライフケア」～最期まで患者の意向に沿ったケアをどう届けるか、一緒に考えてみませんか～

専門看護師一同

**11:50～12:50 研究活動推進委員会企画**

**『臨床と研究をつなぐティーサロン』**

企画：研究活動推進委員会

# プログラム

13:00～14:30 専門家相談

『エンディングノート「私の人生ノート」ってどう書けばよいですか?』

対話促進ツール「私の人生ノート」で、大切な思いを伝えてみませんか?

前橋市医師会おうちで療養相談センター

14:30～16:30 専門看護師企画2

『専門看護師による講演と相談』

「地域におけるエンドオブライフケア」～本人も家族も納得できる最期に向けた暮らしの支援～

専門看護師一同

## オンデマンド専用講演

末期認知症の緩和ケアの実際

平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生協協同組合 研修・研究センター)

エンドオブライフケアにおけるケアマネジメント

島田 千穂 (佐久大学 人間福祉学部)

我が国におけるアドバンス・ケア・プランニング (ACP) の実装に向けて: その人にあったACPを進めていくために

長江 弘子 (亀田医療大学 看護学部 / 看護学研究科)

「快い死」への誘導路 ～Active Deathに向けて～

高橋 卓志 (僧侶)

座長: 秋山 正子 (認定NPO 法人マギーズ東京)

エンドオブライフケアのなかのリハビリテーション

村山 明彦 (群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法専攻)

地域包括ケアにおける入退院支援 ～その人らしい生活に向けて意向をつなぐ～

坂井 志麻 (上智大学 総合人間科学部看護学科)

有限のいのちだからこそ、人は寄り添われることを求める ～ACPまたは「人生会議」の意味～

高橋 在也 (千葉大学大学院医学研究院医学教育学)

学会発表をめざす研究のまとめ方

内田 陽子 (群馬大学大学院保健学研究科)

坂井 志麻 (上智大学)

量的研究の種類と論文の読み方 入門編

鈴木 恵理 (群馬県立県民健康科学大学)

質的研究の種類と論文の読み方 入門編

高井 ゆかり (群馬県立県民健康科学大学)

高齢者ケア施設でのエンドオブライフケアの評価について

戸谷 幸佳 (群馬県立県民健康科学大学)

私らしさを実現する人生会議

内田 陽子 (群馬大学大学院保健学研究科)